

日医工MPS行政情報シリーズ

http://www.nichiiko.co.jp/mps/mps_m.html

MPSレポート 「ジェネリック促進で230億円捻出とは」 — 2009年度予算 —

資料作成: 日医工株式会社 MPSチーム
(認定登録 医業経営コンサルタント登録番号第4217 菊地祐男)



本レポートは日医工MPSによる社内勉強会資料の一部です。
200812月19日時点の情報に基づいて作成しています。

資料No.201219-119



日医工株式会社

<http://www.nichiiko.co.jp>

社会保障費自然増圧縮 2200億円の内訳

道路特定財源 の一般財源化 600億円	ジェネ リック 使用 促進 230 億円	「特別保健福祉事業資金」の見直し 1370億円
シーリング枠 2200億円		

社会保障費自然増を2200億円圧縮することについては、財源を社会保障費以外から捻出することとし、当初はタバコ税を充当することが考えられていました。しかしタバコ税の引き上げは行わないことになり、新たな財源として、道路特定財源から600億円、「特別保健福祉事業資金」の見直しから1370億円、残りの230億円をジェネリック使用促進で捻出する方針となりました。

ジェネリック使用促進230億円の医薬品市場への影響について

ジェネリック使用促進による230億円の圧縮により医薬品市場へはどのような影響が出るのかについて、大雑把に把握するために考察してみました。

【前提】

- ①医療用医薬品市場を7兆円とする(市場の伸びは考慮しない)
- ②ジェネリックシェアを5000億円[7.1%]
- ③ジェネリック以外の市場のうちジェネリックのある医薬品市場(長期収載品)を1/3
- ④ジェネリック以外の市場のうちジェネリックのない医薬品市場(先発品、漢方等)を2/3
- ⑤『ジェネリックのある長期収載品を全て後発品に替えると約1兆円の経済効果がある』

【解説・結果】

- ⑥「230億円」は国庫予算であり、これを国民医療費に換算すると4倍の920億円になります。
- ⑦よって7兆円の医薬品市場が920億円圧縮されると、6兆9080億円になります。
- ⑧長期収載品2兆1700億円を100%ジェネリックに切り替えると1兆円の削減効果があるとしたとき、920億円の削減は1兆円に対して9.2%に相当するため、長期収載品市場は2兆1700億円から9.2%減って1兆9700億円となります。
- ⑨経済効果として長期収載品市場は2000億円減少します。
- ⑩このときのジェネリックシェアは1080億円増の6080億円[8.8%]となります。
(7兆円－920億円－4兆3300億円－1兆9700億円＝6080億円)

国民医療費はその約半分が医療保険、1/4が国庫、残りが自治体と患者負担で賄われているためです。

乱暴な試算ですが、国家予算で230億円をジェネリックで捻出することは、長期収載品市場に2000億円の影響[▲9.2%]を与え、ジェネリック市場は1080億円拡大[+21.6%]すると予想できます。